

誤						
第 8.1.9.1-6 表 交通量の調査結果						
調査期間：平成 23 年 11 月 9 日（水）6 時～10 日（木）6 時						
[平 日]						
調査地点	路線名	時間の区分	交通量			
			小型車	大型車	二輪車	合計
③	一般国道 155 号	昼 間	34,709	11,342	355	46,406
		夜 間	10,510	1,208	117	11,835
		全 日	45,219	12,550	472	58,241

(以下省略)

注：1. 調査地点の番号は、第 8.1.9.1-8 図に対応している。
 2. 交通量は往復交通量を示す。
 3. 時間の区分の昼間は 7～19 時、夜間は 19～7 時を示す。

誤						
予測地点における将来交通量の予測結果						
(工事開始後 19 か月目)						
予測地点	路線名	車 種	一般車両	工事関係車両	合 計	工事関係車両の割合
			(台) A	(台) B	(台) C=A+B	(%) B/C
①	一般国道 302 号	小型車	15,100	532	15,632	3.4
		大型車	12,788	408	13,196	3.1
		合 計	27,888	940	28,828	3.3
②	主要地方道 名古屋西港線	小型車	9,092	152	9,244	1.6
		大型車	7,552	168	7,720	2.2
		合 計	16,644	320	16,964	1.9

注：1. 交通量は、工事関係車両が運行する時間帯（5～20 時）の往復交通量を示す。
 2. 一般車両の将来交通量（平成 27 年）については、現況交通量に伸び率（予測地点①の小型車 1.104、大型車 1.000、予測地点②の小型車 1.025、大型車 1.029）を考慮した交通量を示す。伸び率は、平成 17、22 年に実施された「全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）の結果から設定した。
 3. 小型車の交通量には、二輪車を含まない。

誤
<p>(評価の概要)</p> <p>工事用資材等の搬出入に伴う窒素酸化物、浮遊粒子状物質及び粉じん等の影響を低減するため、左欄の環境保全措置を講じることにより、工事用資材等の搬出入に伴う窒素酸化物（二酸化窒素に変換）の寄与率は、予測地点①（一般国道 302 号）が 0.26%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が 0.09%、浮遊粒子状物質の寄与率は、予測地点①（一般国道 302 号）が 0.04%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が 0.03%と小さい。また、粉じん等については、予測地点の将来交通量に占める工事関係車両の割合が、予測地点①（一般国道 302 号）が 3.3%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が 1.9%と小さい。</p> <p>以上のことから、工事用資材等の搬出入に伴う大気質に及ぼす環境への影響は小さいものと考えられ、実行可能な範囲内で影響の低減が図られているものと評価する。</p> <p>(略)</p>

正						
第 8.1.9.1-6 表 交通量の調査結果						
調査期間：平成 23 年 11 月 9 日（水）6 時～10 日（木）6 時						
[平 日]						
調査地点	路線名	時間の区分	交通量			
			小型車	大型車	二輪車	合計
③	一般国道 155 号	昼 間	30,255	9,409	316	39,980
		夜 間	14,964	3,141	156	18,261
		全 日	45,219	12,550	472	58,241

(以下省略)

注：1. 調査地点の番号は、第 8.1.9.1-8 図に対応している。
 2. 交通量は往復交通量を示す。
 3. 時間の区分の昼間は 7～19 時、夜間は 19～7 時を示す。

正						
予測地点における将来交通量の予測結果						
(工事開始後 19 か月目)						
予測地点	路線名	車 種	一般車両	工事関係車両	合 計	工事関係車両の割合
			(台) A	(台) B	(台) C=A+B	(%) B/C
①	一般国道 302 号	小型車	15,100	532	15,632	3.4
		大型車	12,788	408	13,196	3.1
		合 計	27,888	940	28,828	3.3
②	主要地方道 名古屋西港線	小型車	8,118	152	8,270	1.8
		大型車	6,096	168	6,264	2.7
		合 計	14,214	320	14,534	2.2

注：1. 交通量は、工事関係車両が運行する時間帯（5～20 時）の往復交通量を示す。
 2. 一般車両の将来交通量（平成 27 年）については、現況交通量に伸び率（予測地点①の小型車 1.104、大型車 1.000、予測地点②の小型車 1.025、大型車 1.029）を考慮した交通量を示す。伸び率は、平成 17、22 年に実施された「全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）の結果から設定した。
 3. 小型車の交通量には、二輪車を含まない。

正
<p>(評価の概要)</p> <p>工所用資材等の搬出入に伴う窒素酸化物、浮遊粒子状物質及び粉じん等の影響を低減するため、左欄の環境保全措置を講じることにより、工所用資材等の搬出入に伴う窒素酸化物（二酸化窒素に変換）の寄与率は、予測地点①（一般国道 302 号）が 0.26%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が 0.09%、浮遊粒子状物質の寄与率は、予測地点①（一般国道 302 号）が 0.04%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が 0.03%と小さい。また、粉じん等については、予測地点の将来交通量に占める工事関係車両の割合が、予測地点①（一般国道 302 号）が 3.3%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が 2.2%と小さい。</p> <p>以上のことから、工所用資材等の搬出入に伴う大気質に及ぼす環境への影響は小さいものと考えられ、実行可能な範囲内で影響の低減が図られているものと評価する。</p> <p>(略)</p>

誤			
重要な種の調査結果の概要			
区 分	文献その他の資料調査		現地調査
	文献調査	予備調査	
哺乳類	6種	—	—
鳥 類	58種	コアジサシ, ミサゴ, アカハラ	コアジサシ, ミサゴ, ハイタカ, オオタカ, サシバ, アオバズク, チョウゲンボウ, ハヤブサ, アカハラ, コサメビタキ, ケリ
爬虫類	6種	—	—
両生類	4種	—	—
昆虫類	33種	—	—

誤			
海生動物の重要な種の調査結果			
項 目	文献調査	現地調査	海生動物の重要な種
刺胞動物	1種	0種	ムラサキハナギンチャク
軟体動物	23種	19種	タニシツボ, ウミゴマツボ (エドガワミズゴマツボ), ネコガイ, アダムズタマガイ, アカニシ, オリイレボラ, カミスジカイコガイダマシ, キヌタレガイ, アカガイ, ツヤガラス, タイラギ, ツキガイモドキ, イセシラガイ, オオギウロコガイ, クチバガイ, ユウシオガイ, サクラガイ, ウズザクラガイ, ゴイサギガイ, ヒメシラトリガイ, マテガイ, ウネナシトマヤガイ, イヨスダレガイ, オオノガイ, ヒメマスオガイ, ヒメイカ
節足動物	3種	4種	シバエビ, サメハダヘイケガニ, モクズガニ, チゴガニ
魚 類	9種	1種	ウナギ, アユ, サツキマス, カマキリ (アユカケ), ウツセミカジカ (回遊型), カワアナゴ, ヒモハゼ, ウキゴリ, チチブ
哺乳類	0種	1種	スナメリ

正			
重要な種の調査結果の概要			
区分	文献その他の資料調査		現地調査
	文献調査	予備調査	
哺乳類	6種	—	—
鳥類	58種	コアジサシ, ミサゴ, アカハラ, ケリ	コアジサシ, ミサゴ, ハイタカ, オオタカ, サシバ, アオバズク, チョウゲンボウ, ハヤブサ, アカハラ, コサメビタキ, ケリ
爬虫類	6種	—	—
両生類	4種	—	—
昆虫類	33種	—	—

正			
海生動物の重要な種の調査結果			
項目	文献調査	現地調査	海生動物の重要な種
刺胞動物	1種	0種	ムラサキハナギンチャク
軟体動物	21種	19種	タニシツボ, ウミゴマツボ (エドガワミズゴマツボ), ネコガイ, アダムズタマガイ, アカニシ, オリイレボラ, カミスジカイコガイダマシ, キスタレガイ, アカガイ, ツヤガラス, タイラギ, ツキガイモドキ, イセシラガイ, オオギウロコガイ, クチバガイ, ユウシオガイ, サクラガイ, ウズザクラガイ, ゴイサギガイ, ヒメシラトリガイ, マテガイ, ウネナシトマヤガイ, イヨスダレガイ, オオノガイ, ヒメマスオガイ, ヒメイカ
節足動物	3種	4種	シバエビ, サメハダヘイケガニ, モクズガニ, チゴガニ
魚類	9種	1種	ウナギ, アユ, サツキマス, カマキリ (アユカケ), ウツセミカジカ (回遊型), カワアナゴ, ヒモハゼ, ウキゴリ, チチブ
哺乳類	0種	1種	スナメリ

誤						
予測地点における将来交通量の予測結果 (定期点検時)						
予測地点	路線名	車種	一般車両 (台) A	発電所関係車両 (台) B	合計 (台) C=A+B	発電所関係 車両の割合 (%) B/C
①	一般国道 302 号	小型車	17,022	162	17,184	0.9
		大型車	12,243	30	12,273	0.2
		合計	29,265	192	29,457	0.7
②	主要地方道 名古屋西港線	小型車	9,519	108	9,627	1.1
		大型車	7,589	20	7,609	0.3
		合計	17,108	128	17,236	0.7

注：1. 交通量は、発電所関係車両が運行する時間帯（6～21時）の往復交通量を示す。
 2. 一般車両の将来交通量（平成31年）については、現況交通量に伸び率（予測地点①の小型車1.232、大型車1.000、予測地点②の小型車1.056、大型車1.064）を考慮した交通量を示す。伸び率は、平成17、22年に実施された「全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）の結果から設定した。
 3. 小型車の交通量には、二輪車を含まない。

誤
<p>(評価の概要)</p> <p>資材等の搬出入に伴う窒素酸化物、浮遊粒子状物質及び粉じん等の影響を低減するため、左欄の環境保全措置を講じることにより、工事用資材等の搬出入による窒素酸化物（二酸化窒素に変換）の寄与率は、予測地点①（一般国道 302 号）が 0.05%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が 0.01%、浮遊粒子状物質の寄与率は、予測地点①（一般国道 302 号）が 0.004%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が 0.003%と小さい。また、粉じん等については、予測地点の将来交通量に占める発電所関係車両の割合が、予測地点①（一般国道 302 号）、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）ともに 0.7%と小さい。</p> <p>以上のことから、資材等の搬出入に伴う大気質に及ぼす環境への影響は小さいものと考えられ、実行可能な範囲内で影響の低減が図られているものと評価する。</p> <p>(略)</p>

誤						
交通量の調査結果						
調査期間（平日）：平成 23 年 11 月 9 日（水）6 時～10 日（木）6 時 (単位：台)						
調査地点	路線名	時間の区分	交通量			
			小型車	大型車	二輪車	合計
③	一般国道 155 号	昼間	34,709	11,342	355	46,406
		夜間	10,510	1,208	117	11,835
		全日	45,219	12,550	472	58,241

注：1. 交通量は、往復交通量を示す。
 2. 時間の区分の昼間は 7～19 時、夜間は 19～7 時を示す。

正						
予測地点における将来交通量の予測結果 (定期点検時)						
予測地点	路線名	車種	一般車両 (台) A	発電所関係車両 (台) B	合計 (台) C=A+B	発電所関係 車両の割合 (%) B/C
①	一般国道 302 号	小型車	17,022	162	17,184	0.9
		大型車	12,243	30	12,273	0.2
		合計	29,265	192	29,457	0.7
②	主要地方道 名古屋西港線	小型車	8,518	108	8,626	1.3
		大型車	6,179	20	6,199	0.3
		合計	14,697	128	14,825	0.9

注：1. 交通量は、発電所関係車両が運行する時間帯（6～21時）の往復交通量を示す。
 2. 一般車両の将来交通量（平成31年）については、現況交通量に伸び率（予測地点①の小型車1.232、大型車1.000、予測地点②の小型車1.056、大型車1.064）を考慮した交通量を示す。伸び率は、平成17、22年に実施された「全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通量調査」（国土交通省）の結果から設定した。
 3. 小型車の交通量には、二輪車を含まない。

正
(評価の概要)
<p>資材等の搬出入に伴う窒素酸化物、浮遊粒子状物質及び粉じん等の影響を低減するため、左欄の環境保全措置を講じることにより、工所用資材等の搬出入による窒素酸化物（二酸化窒素に変換）の寄与率は、予測地点①（一般国道302号）が0.05%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が0.01%、浮遊粒子状物質の寄与率は、予測地点①（一般国道302号）が0.004%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が0.003%と小さい。また、粉じん等については、予測地点の将来交通量に占める発電所関係車両の割合が、予測地点①（一般国道302号）が0.7%、予測地点②（主要地方道名古屋西港線）が0.9%と小さい。</p> <p>以上のことから、資材等の搬出入に伴う大気質に及ぼす環境への影響は小さいものと考えられ、実行可能な範囲内で影響の低減が図られているものと評価する。</p>
(略)

正						
交通量の調査結果						
調査期間（平日）：平成23年11月9日（水）6時～10日（木）6時 (単位：台)						
調査地点	路線名	時間の区分	交通量			
			小型車	大型車	二輪車	合計
③	一般国道 155 号	昼間	30,255	9,409	316	39,980
		夜間	14,964	3,141	156	18,261
		全日	45,219	12,550	472	58,241

注：1. 交通量は、往復交通量を示す。
 2. 時間の区分の昼間は7～19時、夜間は19～7時を示す。

誤

重要な種の調査結果の概要

区 分	文献その他の資料調査		現地調査
	文献調査	予備調査	
哺乳類	0種	—	—
鳥 類	8種	カンムリカイツブリ, コアジサシ, ミサゴ, オオタカ, ハヤブサ	カンムリカイツブリ, コアジサシ, ミサゴ, ツミ, ハイタカ, オオタ カ, チョウゲンボウ, ハヤブサ, ケリ
爬虫類	0種	—	—
両生類	0種	—	—
昆虫類	2種	コオイムシ, ミカワオサムシ	コオイムシ, ミカワオサムシ

正

重要な種の調査結果の概要

区 分	文献その他の資料調査		現地調査
	文献調査	予備調査	
哺乳類	6種	—	—
鳥 類	58種	カンムリカイツブリ, コアジサシ, ミサゴ, オオタカ, ハヤブサ	カンムリカイツブリ, コアジサシ, ミサゴ, ツミ, ハイタカ, オオタ カ, チョウゲンボウ, ハヤブサ, ケリ
爬虫類	6種	—	—
両生類	4種	—	—
昆虫類	33種	コオイムシ, ミカワオサムシ	コオイムシ, ミカワオサムシ